



◆2025年（令和7年）11月20日発行 ◆Vol.96

故きを温ねて、新しきを知る『帯広葵学園のあしかづけ』

「真善美」から始まる、葵の子ども像とは

—生きる力を身につけた 明るくたましい子ども—

学校法人帯広葵学園 理事長 上野敏郎

葵学園の児童教育は仏教保育から始まる。1964（昭和39）年の帯広源照学園を創設した大高源照氏は浄土宗「天然寺」の住職であった。その時掲げた考え方が「真善美」である。

創設者が「真善美」に込めた建学の精神とは、「子どもが真（ま）いと」を学び、善（よき心）を育み、美（うつくしさ）を感じながら、生きる力を培うこと」であった。この精神を受けて後に法人名を帯広葵学園とする機会をとらえ、その教育理念を「すべての子どもは、健やかに育ち、幸福に守られ、よりよく生きる権利を持つ」と明記する日本の児童憲章の考え方を大切にしながら、子ども一人ひとりの命と可能性を最大限に伸ばすことに重点を置くことにしている。

では、そのために葵学園は何をしなければならないのか、それを「教育方針」として掲げるのだが、一つには、子ども一人ひとりの尊厳を守り、かつ、その主体性を尊重しなければならないとする。この考え方には、子どもの自己肯定感を育むことに必ずなるし、生きる力にもつながると信じるからである。二つには、思いやりと共生の心を育てることとする。これは、以外の他者を尊重することに結び付き、自らも社会の一員として成長することになるからである。三つ目は、自然や文化に親しみ、感性と創造性を育むことを大切にしたいと考えている。つまり、ここには子どもに日々の保育の中で感じる力や創り出す力を養ってほしいとする願いが入っているのだ。そして四つ目だが、葵学園は家庭や地域と連携し、社会に開かれた児童教育環境をつくりたいと考えている。なぜならば、大人（保護者）が、日常的に地域と関わっていることを子どもが知ることによって、異なる立場や特性を持つ人々が共通の目標に向かって協力することの大切さを子どもは必ず学んでくれると思うからである。以上、「建学の精神」→「教育理念」→「教育方針」を受けて生まれたのが、葵のめざす子ども像だ。それは「生きる力を身に付けた 明るくたましい子ども」となるのである。



学校
法人

帯広葵学園

〒080-0022
帯広市西12条南17丁目3 難波ビル2F
TEL 0155-23-7604 / FAX 0155-67-5778
URL <https://www.obihiroaoi.ed.jp/>



帯広の森幼稚園



012おびもり



つつじが丘幼稚園



012青い鳥保育園



緑阳台認定こども園



柳町認定こども園



駒場認定こども園



あおいキッズランド



東士狩保育所



あおい
プラス